

# 電車どおり



ホームページ  
はこちら

📷  
今月の表紙  
はこだて糖尿病デー  
運営スタッフ集合写真



## もくじ

1. はこだて糖尿病デー開催	・・・ 2p
2. クリスマスイベント開催	・・・ 2p
3. 糖尿病と肥満症、 そして肥満症治療薬とは？	・・・ 3p
4. 健康管理センターからのお知らせ ～冬こそ健康診断を受けましょう！～	・・・ 4p

2026年の干支は「午」です。より正確な十干十二支では、「丙午(ひのえうま)」になります。五行説によれば、「丙」と「午」はともに「火」の性質を持ちます。火の力が重なるため、情熱や勢いが高まり、エネルギーが満ち溢れる年とされています。新しいことに挑戦するには、絶好の機会かもしれません。

皆さま、よいお年をお迎えください。



## 基本方針

- 道南の基幹病院として急性期医療に取り組みます。
- 断らない救急医療を実践し、住民の信頼と期待に応えます。
- 総合周産期母子医療センター及び北海道がん診療連携指定病院として高度で専門的な医療を提供します。
- 「患者さまの権利」を尊重し、安心して安全なチーム医療を実践します。
- 医療環境の発展と充実のため、地域の行政・医療機関との連携を強化します。
- ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりと人材育成に力を入れます。

- 【患者さまの権利】
- ・安全で良質な医療を平等に受ける権利
  - ・自らが受けている医療について、十分な説明を受け、知る権利
  - ・セカンドオピニオンを求める権利
  - ・自らが受ける医療に参加し自己決定する権利
  - ・個人のプライバシーが守られる権利
  - ・個人として常にその人格、価値観が尊重される権利
- 【患者さまの義務】
- ・自らの健康状態を医療者にできるだけ正確に知らせる義務
  - ・医療者の説明や自らの疾病状態の理解に努める義務
  - ・病院の規則や医療者の指示に従い、医療に参加・協力する義務
  - ・他の患者さまの治療や医療者の業務に支障をきたさない義務
  - ・受けた診療に対し、医療費を支払う義務



# 1. はこだて糖尿病デー開催

11月14日の世界糖尿病デーに合わせ、11月22日(土)に  
『はこだて糖尿病デー 2025』  
と題し、講演会とイベントを開催しました。



今年は当院の主催、はこだて健幸プロジェクト後援のもと、函館市総合保健センターで開催されました。

第一部で講演会(講師：高橋 清彦 糖尿病・内分泌内科科長、小野 真佑子 糖尿病・内分泌内科医長、中野 真知子 看護師、今 知里 管理栄養士)、第二部でジャイロキネシストレーナー・伊藤 凧香さんをお招きして、ジャイロキネシス体験を開催しました。  
また、血糖測定体験コーナーも設置し、ご自身の血糖値を測っていただきました。  
一部ではございますが、当日の模様を以下にご紹介いたします。

## 第一部 講演会



肥満症と糖尿病のお話



肥満症治療薬について



血糖値スパイクのお話



糖尿病予防の食事について

## 第二部 イベント



ジャイロキネシス体験



血糖測定体験コーナー

当日お越しいただいた皆様、ありがとうございました。

# 2. クリスマスイベント開催

12月上旬、正面ロビーへ、バルーンアーチで彩られたクリスマスツリーを、ご厚意により設置させていただきました。  
装飾には数々の温かい想いが込められています。ツリーは来院される患者様やご家族を迎え、病院を穏やかな雰囲気へと導きました。写真撮影をされている方も、数多くいらっしゃいました。

病院という場所ではございますが、少しでもクリスマスの雰囲気を楽しんでいただければ、我々も嬉しく思います。



また、クリスマスの日には、サンタさんが小児病棟を訪れました。入院中の子どもたちを元気づけるため、小さな贈り物を届けにきてくれました。

小児科医をはじめとする医療チームと共に、様々なイベントを行いました。療養生活の中、子どもたちの笑顔があふれる時間となりました。

また、全国のサンタさんより、本をご寄贈いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



### 3. 糖尿病と肥満症、そして肥満症治療薬とは？

昨今、いろいろなメディアで肥満症治療薬について目にすることがあるかもしれません。今回は糖尿病と肥満症の関係、そして肥満症の治療薬についてお話しします。

まず、“肥満”とは、カラダに脂肪が過剰に蓄積した状態で、この状態に糖尿病や高血圧症、脂質異常症、脳梗塞、睡眠時無呼吸症候群などの健康障害を合併した場合に“肥満症”と診断されます。特にお腹まわりの脂肪が増える内臓脂肪型肥満の場合、上記に挙げた健康障害を発症しやすいと言われています。



糖尿病・内分泌内科 医長  
小野 真佑子

肥満を合併した2型糖尿病の場合、体重を減らすことで血糖値の改善を望める方も多く、糖尿病治療薬のなかでも減量効果を期待できる薬剤が選択されることがあります。

この薬剤の一部が、2024年2月より糖尿病を認めなくても、ある一定の基準を満たした肥満症患者さんに保険診療で使用できることになりました。この薬剤は、膵臓に作用してインスリンの分泌を促進させ血糖値を低下させます。そして、脳の食欲中枢に働きかけて食欲を抑えたり、胃から食物を排出するスピードを遅らせることで少ない食事量で満腹感と満足感を感じさせるような薬剤であり、適正に使用することで著明な体重の減少を認める方もいます。また食事療法のみでの減量は後々、リバウンドを起こすことが問題でしたが、この薬剤を併用することでリバウンドを生じにくくすることもできます。

一方、“薬”とは疾患や症状に対しある一定の効果をもたらしますが、副作用も持ち合わせています。実際に上記薬剤を保険診療で使用する際は、専門である医師の診察を受け、患者さんご自身がこの薬剤を使用する対象に当たるのか、そして患者さんご自身が薬の副作用までしっかり理解された上で使用するのか決めることが望ましいと考えます。

糖尿病の治療でも、肥満症の治療でも、食生活を整え、運動習慣を取り入れたうえで適正な薬剤を導入して健康的なカラダ作りを目指していきましょう。



## 健康管理センターからのお知らせ

【脳ドック・人間ドック、各種健診】 Web申込み  
申し込みはスマホでWebから！ (24時間受付)



《オススメ検査のご案内！》

### 脳の健康診断 忘れていませんか？

脳ドック受診(MRI機器)で早期発見ができる脳疾患

脳梗塞	脳出血	脳萎縮	脳腫瘍	脳動脈瘤	など
-----	-----	-----	-----	------	----

<こんな方におすすめ！>

<input checked="" type="checkbox"/> 40歳以上	<input checked="" type="checkbox"/> 過度の飲酒習慣の方
<input checked="" type="checkbox"/> 近親者に脳卒中の方がいる方	<input checked="" type="checkbox"/> 喫煙している方
<input checked="" type="checkbox"/> 肥満の方	<input checked="" type="checkbox"/> 2～3年間脳ドックを受けていない方
<input checked="" type="checkbox"/> 高血圧・脂質異常症・糖尿病の治療をしている方	<input checked="" type="checkbox"/> 日頃からストレスを感じている方
	<input checked="" type="checkbox"/> 脂っこい味付けや、濃い食べ物が好きな方

脳ドックについての確認事項 《※必ずご確認ください。》

下記に該当する方は、検査を受けられない場合があります。

① 心臓ペースメーカーを使用している方	② 人工内耳を使用している方
③ 脳神経外科にて治療歴がある、経過観察中、治療中の方	④ 体重が130kg 以上の方
⑤ 妊娠の可能性のある方または妊娠14週以内の方	⑥ 閉所恐怖症の方

### 人間ドック、各種健診 実施しています！

日々の健康管理に是非当院健康管理センターをご利用ください！  
各市町村のがん検診や、企業の健診にも対応しております！

当院の健診の詳細内容はコチラから確認！



《お問い合わせ》健康管理センター  
☎ : 0138-52-1231(内線:2274)    ✉ : kenkan@hakochu-hp.gr.jp